



## ランチルーム給食 一部再開! (3年生)

6月1日(木)に、3年生を対象にランチルーム給食を再開しました。旧綾南中学校で令和4年1月以降ランチルーム給食を中止して以来、久しぶりの実施であり、3年生にとっては本校のランチルームで給食を食べるのは、初めてのこととなりました。

この日の3年生の学級日誌には次のようなコメントが書かれていました。

「みんながきちんとランチルーム給食についての説明を理解しながら聞いていました。」

「ランチルーム給食が始まったのできばきと動けるようにしたいです。」

「初めてのランチルーム給食で不安な人も多かったけれど、みんな楽しんでいました。」

「初めてのランチルーム給食でしたが、全員が素早く配膳できていました。」

さて、綾川町は、県下でも数少ない学校にランチルームという施設がある町です。このランチルーム給食には、教室で食べる給食とは異なる様々な長所があると考えます。

- ① 授業でランチルームを使用することがほとんどなく、そのため人の出入りが少なく、衛生が保たれやすい場所であること。
- ② 調理された料理が入った食缶等の置き場所と、食事を(配膳)する場所が近いため、運搬する距離が短く、短時間で効率的な配膳が可能になること。
- ③ 隣のクラスの配膳状況がすぐ近くで見えるため、互いに素早く配膳しようとする競争心理が働き、素早い配膳につながることで期待されること。
- ④ 大勢が一堂に集い一斉に食事をすることで、賑やかであり楽しくもある雰囲気が醸成されることが期待できること。
- ⑤ 配膳や運搬の途中に汁等をこぼして教室や廊下が汚れることがないため、教室・廊下の清掃や後片付けの手間がなく、午後の授業も気持ちよく受けられること。

学校という集団生活を送る場において、ランチルーム給食「完全復活」には慎重にならざるを得ない状況ではありますが、感染状況の更なる落ち着きが確認できれば、1・2年生にも中学校でのランチルーム給食を是非経験してもらいたいと考えているところです。

